



06  
2017.

## イベント紹介 会員研修「ビジネスマナー講習会」

4月17日(月)に広島テクノプラザでビジネスマナー講習会を開催いたしました。当日は11会員21名の参加者で一日コースの研修を行いました。電話対応や接客対応などを、いろいろなパターンでロープレを行う内容の濃い研修でした。アンケートでも「今まで不安だったものが解消できた」「座学だけでなく、なるほどと思えた」など、実戦に役立つ研修だったとの声がありました。引き続き新入社員向けの講座としてご案内いたしますので、来年度もご活用いただければと思います。



東広島郷心会 理事

**日名田 俊朗**

(有)日名田電文堂 代表取締役



ごあいさつ

東広島郷心会の活動も平成29年度の事業が始まっています。4月17日に実施した、ビジネスマナー講習会には11会員21名の参加を頂いているということで、誠に有難うご

ざいます。参加された方には新入社員の方も多くいらっしゃったと聞いています。マナーの基本のみならず、異業種の方とお話をする中で、いろいろな刺激を受けられたのではないのでしょうか。郷心会の活動は言うまでもなく、会員様の参加によって成り立っておりますし、このような交流を通じて地域の活性化につながる大切だと思います。これからも様々なイベントをご案内してまいりますので、会員の皆様もぜひご参加ください。





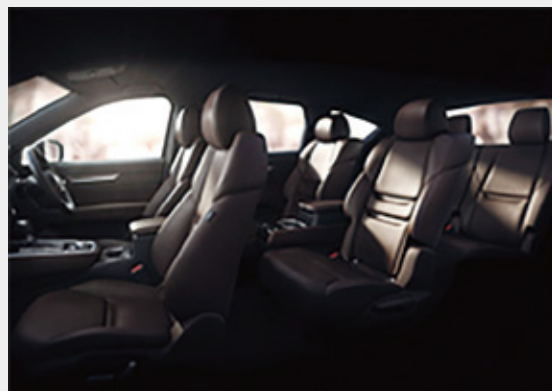
## 【マツダニュース①】

# マツダ、新型クロスオーバー SUV 「マツダ CX-8」 の導入を公表

—国内向け新世代商品初の多人数乗用車、2017年中に発売—

マツダ株式会社（以下、マツダ）は、国内向け新世代商品としては初めての3列シート採用モデルとなる新型クロスオーバー SUV 『マツダ CX-8』を2017年中に国内で発売することを、4月28日に公表しました。

マツダの小飼雅道（こがい まさみち）代表取締役社長兼CEOは、これについて「『CX-8』は、マツダらしい走りやデザイン・質感を備えながら、3列目まで大人がしっかり座れるパッケージングを実現した新型クロスオーバー SUVであり、多人数乗車とともに上質さをお求めになるお客様に向けた、マツダの新しい提案です。マツダは今後も継続的な進化を続けながら、すべてのお客様に走る喜びと優れた環境安全性能をお届けすることで、お客さまとの間に特別な絆をもつブランドを目指してまいります。」と述べました。



## 【マツダニュース②】

# マツダ、先進安全技術を標準装備した「デミオ」を発売

—「i-ACTIVSENSE」標準装備化の第一弾、全機種「安全運転サポート車（サポカー S・ベーシック）」に該当—

マツダは、日本国内で販売するほぼすべての新世代商品を対象に、「i-ACTIVSENSE」技術の標準装備化を2017年度中に行うことを既に公表しました。この取り組みは、運転初心者から高齢者まで、さらに多くのお客さまへ、より安全・安心なクルマをお届けするためのものであり、『デミオ』はその第一弾となります。

『デミオ』に標準装備する「i-ACTIVSENSE」技術は、低速走行時に前方のクルマとの衝突回避をサポートし、被害を軽減する自動ブレーキ「スマート・シティ・ブレーキ・サポート [前進時] (SCBS F)」、徐行・停車時に前方の障害物が検知された状態での急発進を抑制する「AT誤発進抑制制御 [前進時]」、認知支援技術である、車線変更時に斜め後方の車両を知らせる「ブラインド・スポット・モニタリング (BSM)」、駐車場などでの後退時に横から近づく車両を検知し接触の危険を知らせる「リア・クロス・トラフィック・アラート (RCTA)」です。マツダは、これら4つの安全技術を標準装備することで、万が一の事故だけでなく、事故に繋がる危険な状態をも未然に防ぎたいと考えています。



## 【東広島郷心会事務局からご挨拶】

ビジネスマナー講習への多数の参加有難うございました。販売会社にも協力いただき、お昼休みにはマツダ車を見ていただくことが出来ました。若い参加者の方が多かったので、ロードスターRFはとても興味を引いたのではないのでしょうか。様々なイベントや車両の展示など会員の皆様にご提案させていただきますので、よろしくお願いいたします。

